

1-7	<p style="text-align: center;">年齢を言う</p> <p style="text-align: center;">(私は18歳です。)</p>
基本文型	<p>N₁はN₂歳です。</p> <p>N₁=私、彼、彼女、〇〇さん…</p> <p>N₂=数字</p>
ポイント	<p>【文型・文法のポイント】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「N₁はN₂」の形で、年齢を表す。 2. 年齢を尋ねるときは「何歳ですか」「おいくつですか」(「おいくつですか」の方が丁寧)より丁寧に尋ねるには「失礼ですが」を付け加える。 3. 子どもには「さん」より「ちゃん/くん」をつけることが多い。 <p>-----</p> <p>【教える時のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「100」くらいまでの数字の読み方を確認する。(1~20まではきちんと確認する。21以降は読み方がパターン化されている) ・「歳」は助数詞。数字は助数詞の種類によって読み方が変わるので、新しい助数詞を導入する毎に数字の読み方も確認する。 <p>例) 「1」 = 「いち」 「1歳」 = 「いっさい」)</p> <p>助数詞は学習者にとって、習得しにくい項目の一つ。授業の前のウォーミングアップに助数詞を取り入れ、繰り返して覚える機会を増やすとよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本人同士の場合、直接年齢を聞かずに、干支を尋ねることも多い。 <p>学習者によっては十二支を教えてもよい。</p>
例文	<p><例 文></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 私は18歳です。 2. A : 失礼ですが、おいくつですか。 B : 40歳です。 3. A : くみこちゃん、お年はいくつ? B : 5歳。
場面	